



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月25日

上場会社名	株式会社小糸製作所	上場取引所	東
コード番号	7276	URL	http://www.koito.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 三原 弘志	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役常務執行役員	(氏名) 山本 英男	TEL (03) 3443-7111
四半期報告書提出予定日	平成28年11月2日		配当支払開始予定日 平成28年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 有		

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期 第2四半期	383,720	0.1	39,748	22.7	39,646	20.6	22,929	61.8
28年3月期 第2四半期	383,310	18.6	32,399	32.1	32,882	28.4	14,175	△ 3.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 8,284百万円 (623.7%) 28年3月期第2四半期 1,144百万円 (△95.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期 第2四半期	142	69	142	63
28年3月期 第2四半期	88	21	88	20

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
29年3月期 第2四半期	570,049		329,625		51.2		1,816	06
28年3月期	588,683		329,671		48.6		1,780	94

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 291,830百万円 28年3月期 286,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭		
28年3月期	—	16	00	—	20	00	36	00
29年3月期	—	20	00	—	—	—	—	—
29年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	787,000	△ 3.3	82,000	△ 0.3	83,000	△ 1.5	49,000	5.8	304	93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	160,789,436株	28年3月期	160,789,436株
29年3月期2Q	95,694株	28年3月期	95,649株
29年3月期2Q	160,693,772株	28年3月期2Q	160,693,975株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

(参考) 平成29年3月期の個別業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	288,000	6.3	25,000	16.0	40,000	8.2	28,000	28.4	174	24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、個人消費の低迷等により低調に推移いたしました。世界においては、米国や欧州の景気が堅調に推移したものの、中国の成長鈍化や南米の景気後退、加えて英国のEU離脱に向けた金融市場の混乱、中東リスク等もあり、総じて減速基調で推移いたしました。

自動車産業におきましては、国内は、軽自動車の販売不振の影響等により、生産台数は前年同期に比べ減少いたしました。海外では、米国・西欧・中国・インド等にて増産となったことにより、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は、円高の影響があるなか、新規受注の拡大、自動車ランプのLED化進展等に伴い主力の自動車照明関連事業が増収となったことにより、前年同期比0.1%増の3,837億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

【日本】

自動車生産台数は減少したものの、新規受注の拡大、自動車ランプのLED化進展等により、売上高は前年同期比7.8%増の1,477億円となりました。

【北米】

自動車需要の伸長に伴う生産増加や新規受注の拡大、LED化の進展等により現地通貨ベースでは増収となりましたが、円高の影響により、売上高は前年同期比1.2%減の863億円となりました。

【中国】

自動車生産台数の増加や新規受注拡大により生産数量は増加したものの、円高の影響により、売上高は前年同期比5.3%減の976億円となりました。

【アジア】

ASEAN地域の自動車生産が回復するなか、タイやインドネシアにおける新規受注の拡大、二輪車ランプのLED化等により現地通貨ベースでは増収となりましたが、円高の影響により、売上高は前年同期比3.9%減の368億円となりました。

【欧州】

域内自動車生産が堅調に推移するなか、新規受注の拡大、ランプのLED化等により現地通貨ベースでは増収となったものの、円高の影響により、売上高は前年同期比13.0%減の150億円となりました。

利益につきましては、受注数量増の効果に加え、国内外における改善合理化を推進したこと等により、営業利益は前年同期比22.7%増の397億円、経常利益は前年同期比20.6%増の396億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、前期に連結子会社K Iホールディングス株式会社における航空機シート関連の損害賠償に係る損失を計上したこともあり、前年同期比61.8%増の229億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

ー 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第2四半期末の資産の残高は、受取手形及び売掛金など流動資産の減に加え、為替換算の影響等もあり、前期末に比べ186億円減少の5,700億円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金、短期借入金の減等により、前期末に比べ185億円減少の2,404億円となりました。

純資産の残高は、利益剰余金は増加したものの、為替換算調整勘定が減少したこと等から、前期末並の3,296億円となりました。

ー 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益385億円、減価償却費144億円を主体に522億円となり、法人税等を支払った結果、423億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資162億円等を実施した結果、259億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済46億円、配当金等の支払い71億円を実施したこと等により、118億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ20億円増加の339億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、国内では自動車生産台数が減少するなか新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展等により増収、海外では北米や中国を主体に新規受注拡大やLED化進展等は見込まれるものの円高の影響により減収となり、連結全体においては前期比減収の予想であります。

利益につきましては、国内の増収効果はありますが、海外における為替換算の影響等により、営業利益、経常利益は前期比減益の見通しであります。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に連結子会社K Iホールディングス株式会社における航空機シート関連の損害賠償に係る損失を計上したこと等により、前期比増益の予想であります。

当第2四半期末における1株当たり株主配当金につきましては、前第2四半期末に対し4円増配、前期末と同額の20円といたしました。当期末配当金につきましては、経営環境の先行きが依然不透明であることから、現時点では未定とさせていただきます、業績動向を踏まえ、改めて公表させていただく予定です。

今後とも株主皆様のご期待にお応えすべく、更なる収益向上に努めて参りたく存じます。

なお、平成28年7月28日の第1四半期決算短信にて公表いたしました平成29年3月期通期の業績予想(連結・個別)は以下の通り修正しております。

平成29年3月期 通期(平成28年4月1日～平成29年3月31日) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	780,000	78,000	79,000	47,000	292 48
今回予想(B)	787,000	82,000	83,000	49,000	304 93
増減額(B-A)	7,000	4,000	4,000	2,000	—
増減率(%)	0.9	5.1	5.1	4.3	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	813,477	82,218	84,296	46,303	288 15

(参考)平成29年3月期 通期 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	287,000	22,000	37,000	26,000	161 80
今回予想(B)	288,000	25,000	40,000	28,000	174 24
増減額(B-A)	1,000	3,000	3,000	2,000	—
増減率(%)	0.3	13.6	8.1	7.7	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	270,857	21,546	36,979	21,802	135 68

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

一部の国内連結子会社においては、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	161,762	172,775
受取手形及び売掛金	126,393	110,974
電子記録債権	9,361	9,385
有価証券	182	—
たな卸資産	64,180	63,156
繰延税金資産	4,081	3,527
その他	29,477	29,399
貸倒引当金	△876	△674
流動資産合計	394,562	388,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,346	36,316
機械装置及び運搬具(純額)	56,804	51,288
工具、器具及び備品(純額)	17,959	17,339
土地	13,749	13,478
建設仮勘定	10,439	9,878
有形固定資産合計	139,300	128,299
無形固定資産	1,997	1,874
投資その他の資産		
投資有価証券	45,988	44,331
破産更生債権等	60	60
繰延税金資産	5,221	5,537
その他	1,741	1,692
貸倒引当金	△188	△291
投資その他の資産合計	52,822	51,331
固定資産合計	194,121	181,505
資産合計	588,683	570,049

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	128,357	119,501
短期借入金	28,073	21,067
未払費用	20,138	19,339
未払法人税等	9,398	9,506
賞与引当金	4,820	4,869
製品保証引当金	2,824	2,891
その他	11,180	10,231
流動負債合計	204,793	187,407
固定負債		
長期借入金	13,176	12,626
繰延税金負債	6,410	5,940
役員退職慰労引当金	414	449
製品保証引当金	4,726	4,451
環境対策引当金	198	191
退職給付に係る負債	27,621	27,207
その他	1,672	2,149
固定負債合計	54,219	53,016
負債合計	259,012	240,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,108	17,107
利益剰余金	228,490	248,205
自己株式	△86	△87
株主資本合計	259,782	279,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,123	18,555
為替換算調整勘定	7,712	△5,699
退職給付に係る調整累計額	△432	△523
その他の包括利益累計額合計	26,403	12,332
新株予約権	291	291
非支配株主持分	43,193	37,503
純資産合計	329,671	329,625
負債純資産合計	588,683	570,049

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	383,310	383,720
売上原価	323,639	317,801
売上総利益	59,671	65,919
販売費及び一般管理費	27,272	26,170
営業利益	32,399	39,748
営業外収益		
受取利息	966	365
受取配当金	602	662
持分法による投資利益	4	7
その他	1,266	852
営業外収益合計	2,840	1,888
営業外費用		
支払利息	424	447
為替差損	1,413	1,398
航空事業安全対策費	229	—
その他	289	144
営業外費用合計	2,356	1,989
経常利益	32,882	39,646
特別利益		
固定資産売却益	1,390	12
投資有価証券売却益	1,002	41
その他	1	—
特別利益合計	2,394	54
特別損失		
固定資産除売却損	314	225
投資有価証券評価損	—	32
災害損失	—	922
損害賠償引当金繰入額	9,968	—
独禁法関連損失	933	—
損害賠償金	924	—
その他	1	—
特別損失合計	12,142	1,181
税金等調整前四半期純利益	23,135	38,520
法人税、住民税及び事業税	8,477	11,103
法人税等調整額	1,548	810
法人税等合計	10,026	11,913
四半期純利益	13,109	26,606
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,175	22,929
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,066	3,676

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,728	△693
為替換算調整勘定	△5,920	△17,531
退職給付に係る調整額	△316	△96
その他の包括利益合計	△11,964	△18,321
四半期包括利益	1,144	8,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,561	8,858
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,416	△573

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,135	38,520
減価償却費	14,497	14,455
のれん償却額	108	—
株式報酬費用	291	—
持分法による投資損益(△は益)	△4	△7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	234	△13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△722	△513
賞与引当金の増減額(△は減少)	68	54
製品保証引当金の増減額(△は減少)	195	△208
受取利息及び受取配当金	△1,569	△1,027
支払利息	424	447
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△1,002	△41
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	—	32
有形固定資産除売却損益(△は益)	△1,076	212
損害賠償引当金繰入額	9,968	—
独禁法関連損失	933	—
損害賠償金	924	—
災害損失	—	922
売上債権の増減額(△は増加)	△3,264	4,385
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,010	△4,589
その他の流動資産の増減額(△は増加)	2,442	△2,418
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,184	△14
未払費用の増減額(△は減少)	1,460	776
その他	7,830	1,301
小計	49,678	52,274
利息及び配当金の受取額	1,569	1,027
利息の支払額	△424	△447
独禁法関連損失の支払額	△933	—
損害賠償金の支払額	△8,995	—
法人税等の支払額	△11,338	△10,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,557	42,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△63,771	△66,585
定期預金の払戻による収入	41,730	56,859
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△48	△46
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	14,353	460
有形固定資産の取得による支出	△22,541	△16,228
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	2,086	15
貸付けによる支出	△7	△4
貸付金の回収による収入	8	6
その他	△806	△458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,996	△25,981

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,649	△5,908
長期借入れによる収入	669	1,398
長期借入金の返済による支出	△167	△152
自己株式の取得による支出	△0	△0
親会社による配当金の支払額	△4,176	△3,212
非支配株主への配当金の支払額	△1,682	△3,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,707	△11,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	△986	△2,419
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,132	2,097
現金及び現金同等物の期首残高	33,082	31,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,950	33,983

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	137,075	87,458	103,124	38,345	17,306	383,310	—	383,310
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69,768	3	2,718	3,360	1,196	77,048	(77,048)	—
計	206,844	87,462	105,842	41,706	18,503	460,359	(77,048)	383,310
セグメント利益	12,699	6,624	7,433	3,488	1,764	32,012	387	32,399

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額387百万円には、セグメント間取引消去2,975百万円及び配賦不能営業費用△2,588百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	147,762	86,371	97,674	36,852	15,059	383,720	—	383,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79,040	3	2,478	3,611	783	85,917	(85,917)	—
計	226,803	86,374	100,153	40,464	15,842	469,638	(85,917)	383,720
セグメント利益	18,469	7,441	7,154	4,303	1,900	39,270	478	39,748

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額478百万円には、セグメント間取引消去3,198百万円及び配賦不能営業費用△2,720百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …英国、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。